国史跡多田銀銅山遺跡

National Historic Site Tada Silver and Copper Mine

多田銀銅山 悠久の館
多田銀銅山 悠久広場

周辺案内

公共交通機関アクセスマップ

公共交通機関ご利用の場合

利用案内

多田銀銅山悠久の館
開館時間 / 午前９時～午後５時
休館日 / 毎週月曜日
※月曜日が休日の場合はその翌日
12月29日～１月３日

多田銀銅山悠久広場
駐車場利用時間 / 午前９時～午後５時
駐車場利用不可日 / 毎週月曜日
※月曜日が休日の場合はその翌日
12月29日～１月３日

青木間歩
開館時間 / 午前９時～午後５時
※12月29日～１月３日は閉鎖します
駐 車 場 / なし
※多田銀銅山悠久の館から北へ約600ｍです。

お問い合わせ

多田銀銅山悠久の館

〒666－0256
兵庫県川辺郡猪名川町銀山字長家前４番１
ＴＥＬ・ＦＡＸ　072－766－4800

編集・発行
猪名川町教育委員会
令和３年（２０２１）３月　初版発行
令和５年（２０２３）６月　２版発行

多田銀銅山悠久の館のホームページは・・・
こちらをアクセスしてね。

・見学地は国史跡多田銀銅山遺跡の一部です。国民の財産である史跡を大切にしましょう。
・植物や石などを持ち帰らないでください。
・ゴミは持ち帰るようにしてください。
・公開していない土地や建物には立ち入らないでください。
・青木間歩以外の間歩は、危険ですので立ち入らないでください。
・車両が通るため広がって歩かないでください。
・車のスピードの出しすぎに注意し、安全運転を心がけてください。
・多田銀銅山悠久の館より北は大変狭い道路のため、車の乗り入れはご遠慮ください。

国史跡多田銀銅山遺跡

多田銀銅山は、兵庫県猪名川町、川西市、宝塚市、大阪府池田市、箕面市、能勢町、豊能町一帯の鉱床群の総称です。

猪名川町銀山地区には、近世初期から明治時代の遺跡が点在しています。江戸時代には代官所による幕府の直接管理を経て、明治２年（1869）まで役所による幕府の間接管理が行われました。調査の結果、中核部分の一部が平成27年（2015）10月７日に国の史跡に指定されました。

青木間歩坑道内

多田銀銅山悠久広場

明治時代に操業された「堀家製錬所」跡地。現地学習する場として平成25年（2013）３月に竣工しました。地上に残存するレンガ構造物とレンガ敷遺構の復元展示などが見学できます。

多田銀銅山悠久の館

多田銀銅山の歴史を紹介するとともに、見学者の休憩を兼ねるガイダンス施設として、平成19年（2007）４月に開館しました。

猪名川町教育委員会

国史跡多田銀銅山遺跡 案内マップ

National Historic Site Tada Silver and Copper Mine Guide Map

① 大坂口番所跡

寛文元年（1661）に代官所とともに銀山の出入口４箇所に設置された口固番所の一つです。調査の結果、役所建物跡などが見つかりました。遊歩道越しに見学できます。

国史跡

② 代官所（役所）跡

寛文元年（1661）、銀の鉱脈の発見を契機に設置されました。発掘調査の結果、江戸時代末期の役所建物跡や階段跡などが見つかりました。多田銀銅山悠久の館テラス越しに見学できます。

国史跡

③ 高札場跡

高札は江戸時代に幕府がきまりや禁止事項を木札に墨で書いた札で、人通りが多い場所に掲示しました。銀山町では代官所手前に置かれました。

④ 甘露寺

敏達天皇の頃（６世紀）に開かれたと伝えられています。三重県伊勢の甘露寺は多田銀銅山から移住した鉱夫達によって建てられたと伝えられています。

⑤ 本町のまちなみ

江戸～明治時代の約 300 年間、銀や銅の生産を行う「吹屋」があったところです。道沿いに当時の面影をのこす建物がみられます。

⑥ 金山彦神社

鉱山の神様、「金山彦命」を祀っています。本殿は銀山最盛期の寛文４年（1664）に建立されました。

国史跡（境内地）、町指定文化財（本殿）

⑦ 青木間歩

周囲にアオキが茂っていたことからその名が付いたといわれています。多田銀銅山で唯一坑道内を体験できます。照明設備もあり、自由に見学できます。見学坑道は昭和期に削岩機を使って掘りすすめられたもので、その途中で江戸時代に採掘された手掘りの坑道掘を見学できます。坑道の上には、近世初期の露頭掘も見ることができます。なお、坑道は江戸時代に間歩と呼ばれていました。

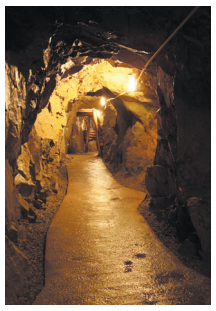
国史跡

見学時間：午前９時～午後５時

見学無料

閉 鎖 日 ：年末年始（１２月２９日～１月３日）

アクセス：多田銀銅山悠久の館より北へ 600m



⑧ 日本鉱業（株）多田鉱業所跡

昭和 19 年（1944）から昭和 48 年（1973）まで日本鉱業（株）が、瓢箪間歩周辺で銀銅の採掘を行いました。建物は現存していませんが、基礎の石積が残っています。

⑨ 多田銀銅山 大露頭

大露頭は瓢箪鏑の鉱脈が地表に現れているもので銀銅の品位は低いですが、鉱脈の様子を分かりやすく示す露頭として重要です。

国史跡、町指定天然記念物

⑩ 台所間歩

江戸時代の文書には言い伝えとして豊臣秀吉の時代に大坂城（現大阪城）の台所（財政）を潤すほど銀銅の産出量があったことからその名がついたと記されています。

国史跡

⑪ 瓢箪間歩

江戸時代の文書には言い伝えとして豊臣秀吉が馬印を掲げることを許したといわれるほどの銀銅の産出量があったと記されています。銀山地区で最大規模の坑道です。

国史跡

⑫ 村上新田

村上新田は、江戸時代の文書から元禄９年（1696）までに新田が開発されたと考えられます。現在は水田と里山が残されています。